

# 下鴨神社奉納

場所 下鴨神社 舞殿・橋殿  
日時 ~~平成31年~~5月4日(土) 午後1時  
令和元

主催 下鴨神社  
宮司 新木直人  
共催 日本古武道振興会  
会長 小笠原清忠

# 下鴨神社奉納演武

舞 殿

橋 殿

参加流派 32 参加人数 141 名 (直会参加 101 名)

- |                     |    |                        |  |
|---------------------|----|------------------------|--|
| 小笠原流弓馬術礼法 (小笠原 清忠)  | 1  |                        |  |
| 鞍馬流劍術 (柴田 章雄)       | 2  | 貫心流劍術 (富士原 正雄)         |  |
| 神夢想林崎流居合術 (鈴木ゆき子)   | 3  | 荒木流軍用小具足 (千葉 明)        |  |
| 神道夢想流杖術 (濱地 光男)     | 4  | 佐分利流槍術、信拔流居合劍法 (川瀬 一道) |  |
| 夢想神伝流居合術 (高橋 次秀)    | 5  | 細川家伝統兵法二天一流 (宮田 和宏)    |  |
| 直心影流薙刀術 (園部 正美)     | 6  | 関口流拔刀術 (祖父江光紀)         |  |
| 宝蔵院流高田派槍術 (一箭 順三)   | 7  | 立身流 (加藤 紘)             |  |
| 神道無念流劍術 (小川 武)      | 8  | 今真流柔術捕手術 (米永 輝明)       |  |
| 無限神刀流居合術 (長尾 全祐)    | 9  | 小野派一刀流劍術 (鈴木ゆき子)       |  |
| 無双直伝英信流居合兵法 (石本 一平) | 10 | 柳生新陰流兵法 (柳生 耕一)        |  |
| 戸山流拔刀道 (中村 朋子)      | 11 | 天然理心流 (大塚 篤)           |  |
| 柳生心眼流體術 (梶塚 靖司)     | 12 | 夢想神伝居合重信流詰合 (津村 恵治)    |  |
| 風傳流槍術 (今西 春禎)       | 13 | 天道流薙刀術 (木村 恭子)         |  |
| 心形刀流武芸形 (小林 強)      | 14 | 天真正伝香取神道流兵法 (飯篠 快貞)    |  |
| 兵法タイ捨流 (上原エリ子)      | 15 | 直元流大長刀術 (鈴木ゆき子)        |  |
| 琉球古武術 (井上 貴勝)       | 16 | 柳生制剛流拔刀 (柳生 耕一)        |  |
| 竹内流捕手腰廻 (竹内 藤十郎)    | 17 |                        |  |

17 流派 78 名

15 流派 63 名

~~平成31~~年 (2019) 5月4日  
令和元

下鴨神社 奉納演武順序

舞 殿

一、小笠原流弓馬術礼法（小笠原長清）

小笠原清忠（神奈川県）

小笠原清基

小笠原清

松本和正

鈴木浩一

和田太

安達

柴田章雄（東京都）

柴田章

柴田彩

柴田雄

柴田登

松井康

三、神夢想林崎流居合術（北條甚助林崎平重信）

鈴木 ゆき子（東京都）

鈴木 正典  
後藤 喜一  
大竹 朗  
宮内 一

四、神道夢想流杖術（夢想権之助勝吉）

濱地 光 男（愛知県）

富田 裕一  
鈴木 木司  
池田 真由美  
上川 純一

五、夢想神伝流居合術（林崎甚助重信）

高橋 次 秀（東京都）

高平 叡正  
石川 本  
毛利 公  
高橋 雅  
清高 航

六、直心影流薙刀術（山田平左衛門藤原光徳）

園部正美（奈良県）

福板垣 輝美  
大松谷大板 力子  
石野口林垣 三子  
洋富克栄 美子  
子代美子

七、宝蔵院流高田派槍術（宝蔵院覚禅房法印胤栄）

一 箭 順 三（奈良県）

若林 幹雄  
美馬 博幸  
土屋 明洋  
半田 清裕  
西堀 昌作  
田口 昭  
加藤 了  
米原 紀  
吉嗣

八、神道無念流劍術（福井兵右衛門嘉平）

小川武（東京都）

九、無限神刀流居合術（武田惣角正義山本一刀齋）

長尾全祐（千葉県）

十、無双直伝英信流居合兵法（林崎甚助重信）

石本一平（兵庫県）

十一、戸山流拔刀道（中村泰三郎）

中村朋子（神奈川県）

小萩齊藤川崎  
山土屋藤崎  
谷屋正政  
山正政  
子則文昭武

平鈴木岡  
長尾全祐  
平鈴木岡  
朱智貴祥  
未久之淑

石本一平  
中石本恒夫

中村朋子  
阿高部野英弘夫  
高野弘光

十二、柳生心眼流體術（荒木又右衛門）

梶塚靖司（栃木県）

高橋慶太  
前田樹里  
鈴木真由

十三、風傳流槍術（中山源兵衛吉成）

今西春禎（大阪府）

吉本昭夫  
梅田將大

十四、心形刀流武芸形（伊庭是水軒秀明）

小林強（三重県）

小加藤尚大  
中藤卓男  
振角卓哉

十五、兵法タイ捨流（丸目藏人佐藤原長恵）

上原工（熊本県）

田添信一郎  
田中英樹

十六、琉球古武術

井上貴勝  
(東京都)

井上貴勝  
吉田上  
惠正下  
道泰淨  
山量弘  
塩口也  
向井田  
藤田宣  
藤田千  
藤田義  
井上俊  
井上二

十七、竹内流捕手腰廻  
(竹内中務大輔久盛)

竹内藤十郎  
(岡山県)

竹内藤十郎  
竹内藤十郎  
竹内秀将  
竹内勢至



橋 殿

二、貫心流劍術 (去戸司箭家俊)

三、荒木流軍用小具足 (荒木夢仁齊源秀繩)

四、佐分利流槍術 信拔流居合劍法 (佐分利猪之助重隆)

五、細川家伝統兵法二天一流 (新免武蔵玄信)

宮 田 和 宏 (福岡県)  
宮 田 和 宏  
吉 村 壯 平  
深 谷 俊 文  
長 富 昭 長  
林 富 又 ル

川 瀬 一 道 (広島県)  
川 瀬 一 道  
前 原 一 教

千 葉 明 (神奈川県)  
千 葉 明

富士原 正 雄 (兵庫県)  
福 浦 清 文  
谷 口 信 彦  
竹 尾 明 莉  
矢 島 亜 優

六、 関口流抜刀術 (関口八郎左衛門源實親)

七、 立身流 (立身三京)

八、 今真流柔術捕手術 (関六郎藤原武綱)

九、 小野派一刀流剣術 (伊藤一刀斎景久)

祖父江光  
徳江  
坂下井  
山際  
英忠哲  
人國夫  
紀 (茨城県)

加藤裕  
江尻  
介  
紘 (千葉県)

米永輝  
米谷永  
大村  
浦田  
大槻  
長沢  
英芳康輝  
明 (大阪府)  
二春  
昭春  
淳昭  
玄

鈴木  
後藤  
大井  
酒井  
鈴木  
鈴木  
鈴木  
宮茂  
大真  
理  
一  
地  
香  
建  
章  
朗  
典  
ゆき子  
き子  
子 (東京都)

十、柳生新陰流兵法（上泉伊勢守信綱）

柳生 耕一（愛知県）  
柳越生 義徳 一広  
水村 明徳 之二  
野川 裕一 龍  
西居 本  
折居 龍  
岡本 龍

十一、天然理心流（近藤内藏之助藤原長裕）

大塚 篤（茨城県）  
大塚 篤美 徳昌 治人 子  
藤原 正徳 宏賢 眞安 陽  
栗成 宏賢 眞安 陽  
大島 成賢 眞安 陽  
小川 島賢 眞安 陽  
助川 島賢 眞安 陽  
影澤 宮  
宇都宮 陽

十二、夢想神伝居合重信流詰合（林崎甚助重信）

津村 恵治（埼玉県）  
津村 恵治 勝之  
安藤 和  
斎藤 勝

十三、天道流薙刀術（齋藤判官伝鬼房）

木村恭子（東京都）

十四、天真正伝香取神道流兵法（飯篠長威齊家直）

飯篠快貞（千葉県）

十五、直元流大長刀術（天真正笠并藤左衛門尉）

鈴木ゆき子（東京都）

十六、柳生制剛流拔刀（水早長左衛門信正）

柳生耕一（愛知県）

和田久代  
浦部美子  
山橋順子  
吉富美津  
貴島美子

飯篠快貞  
京増重  
荒野祥利  
成毛弘

鈴木ゆき子  
鈴木一

柳生耕一  
紀崎剛  
永井彰  
数納英明

## 古武道振興会沿革

日本古武道振興会は、昭和十年四月一日、松本学貴族院議員、小山松吉司法大臣、二荒芳徳伯爵等、当時の有識者と古武道各流派代表者が集まり結成されました。日本の誇るべき伝統文化財である古武道の衰微を憂い、その保存と振興を図ることを目的としました。昭和十五年四月四日には、財団法人の許可を受け多彩な活動を展開し大きな成果をあげてまいりましたが、終戦に伴う米軍占領下という事情もあり、財団法人を自主解散し、現在にいたる任意団体になりました。

古武道振興の主旨は、日本の誇るべき文化財である日本武術の神髄を体得錬磨し、青少年に普及することにあります。「武は戈を止める」と申されております如く日常の武術修練によつて得た心技体の実力をあくまで表面に示さず謙虚に余裕をもつて自己及周囲を洞察する心と体を養うことにあります。その武の心を心として各流派宗家、師範を中心に毎年十一月三日の明治神宮の演武大会、伊勢神宮（式年遷宮年）、靖国神社、下鴨神社、白峯神宮、熱田神宮、浅草神社、等戦前に引続き奉納演武が恒例となっております。

日本古武道振興会としては、活動の一環として古武道大会開催の他、流儀解説の普及にも努めてまいりました。昭和三十七年発行の機関誌「真鏡」第二号で各流儀の流祖伝系、演武者の経歴を掲載したのをはじめ、昭和四十五年には「真鏡」別冊で同じく流儀解説を紹介、その後本格的な流儀解説書を創立四十六周年（昭和五十六年）に発行し、創立五十周年（昭和六十年）からは五年ごとに創立記念古武道大会を開催すると同時に、流儀解説書を改訂刊行してまいりました。

平成二十七年七月十九日（日）には、創立八十周年記念大会を中野サンプラザホールにて開催致しました。古武道の益々の発展と隆盛を期して参ります。



# 日本古武道振興会

事務局 〒160-0016 東京都新宿区信濃町11-12 柴田章雄

ホームページ <http://kobushin.jp/>  
メール [kobudoushinkoukai@yahoo.co.jp](mailto:kobudoushinkoukai@yahoo.co.jp)